

全日本エンデュランス馬術大会2007実施要項

1. 主催 日本馬術連盟
2. 担当 全日本エンデュランス馬術大会2007実行委員会
3. 競技日程
- 2007（平成19）年9月21日（金）
- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 受付 | 13:00 ～ 16:00 |
| 役員打合せ | 12:00 ～ 13:30 |
| 獣医師団打合せ | 13:30 ～ 14:00 |
| 競技前獣医検査 | 14:00 ～ 16:30 |
| 日本馬術連盟騎乗者資格C級試験
(実技・学科) ウリマックホール | 14:30 ～ |
| 開会式・ブリーフィング
(選手打合せ会) | 16:40 ～ 17:20 |
- 2007（平成19）年9月22日（土）
- | | |
|---------------------------|------------|
| 選手権競技120kmスタート | 3:00 ～ |
| 一般競技80kmスタート | 5:00 ～ |
| 一般競技ベストコンディション
賞実馬比較審査 | (対象馬競技終了後) |
| 交流会 | 18:30 ～ |
- 2007（平成19）年9月23日（日）
(2006秋季北海道エンデュランス馬術大会)
- | | |
|----------------------------|--------------|
| 60km | 6:00 |
| 40Km | 7:00 |
| 20Km | 7:30 |
| 選手権競技ベストコンディション
賞実馬比較審査 | 9:00 |
| 閉会式・表彰式 | 13:30 ～ (予定) |
| 日本馬術連盟エンデュランス限定C級試験 | 14:00 |
| ～
(学科) ウリマックホール | |
| 日本馬術連盟エンデュランス限定B級試験 | 14:00 |
| ～
(学科) ウリマックホール | |
4. 場所 鹿追ライディングパークを発着地とする特設コース

【大会実施要項】

(1) 競技種目	1. 選手権競技 4区間120Km (40km+30km+30km+20km 4区間)
	走行時間制限 12時間00分
	カットオフタイム
	第3区間到着後時刻 14:00
	第4区間ゴール時刻 16:40

※安全確保のため、第1レグのコースをオープンします。
(9月1日以降)

コースに入りたい方は、ウリマックホール事務局（瀬戸：
0156-67-2345）までお問い合わせください。

2. 一般競技 3区間80Km
(30km+30km+20km 3区間)

走行時間制限 9時間00分

カットオフタイム

第2区間到着後時刻 12:15

第3区間ゴール時刻 15:00

(2) 参加資格
① 共通資格

1) 競技者

日本馬術連盟の会員であること、年齢は14歳の誕生日を迎える年からとする。20歳未満の者については保護者の同意を必要とする。日本馬術連盟騎乗者資格エンデュランス限定B級以上を取得していること。

2) 競技馬

日本馬術連盟の登録馬であること。妊娠が明瞭な牝馬及び子連れの牝馬は参加できない。

3) 完走証明

完走実績の証明は、それぞれの主催者の発行する完走証明書の写しが必要であり、それは国の内外を問わない。

② 競技種目資格

1) 選手権競技
ア、競技者

選手権競技120Kmに参加する競技者は、日本馬術連盟騎乗者資格A級あるいはB級及びエンデュランス限定B級を取得していて、80Km競技を1回以上完走していること。

イ、競技馬

選手権競技120Kmに参加する競技馬は、80Kmを1回以上完走していること、年齢は6歳以上とする。

※競技種目参加資格につきましては、平成19年4月1日発行の日本馬術連盟競技会諸規定を参照して下さい。

2) 一般競技
ア、競技者

一般競技80Kmに参加する競技者は、日本馬術連盟騎乗者資格A級あるいはB級及びエンデュランス限定B級を取得していて、40Kmを2回以上、60Km2回以上（内、1回ノビスを含む）完走していること。

イ、競技馬

一般競技80Kmに参加する競技馬は、60Km競技を1回以上完走していること、年齢は5歳以上とする。

※競技種目参加資格につきましては、平成19年4月1日発行の日本馬術連盟競技会諸規定を遵守しF E I 規程を参照する。

<p>(3) 褒 賞</p>	<p>選手権競技120kmの優勝者を全日本チャンピオンとする。 各競技毎 1位 優勝杯/賞状/リボン/副賞 2位～3位 賞状/リボン/副賞 4位～8位 リボン ベストコンディション賞 賞状/馬着/副賞 団体賞※ 賞状/飼育奨励金 ※選手又は参加馬が同一の加盟所属団体に構成されている個人戦 出場馬3頭以上でチームを編成し、チーム内で完走上位3頭の走行 時間合計によって決定する。</p>
<p>(4) 完 走 証 明 書</p>	<p>完走した人馬について完走証明書を交付する。</p>
<p>(5) 競 技 会 規 程</p> <p>① 共 通 規 程</p> <p>1) 獣 医 検 査 ア、馬 体 検 査</p> <p>イ、インスペクション</p> <p>ウ、強 制 休 止 時 間</p> <p>エ、強 制 再 検 査</p>	<p>日本馬術連盟エンデュランス競技会規程を遵守する。</p> <p>1. 馬体検査（個体識別防疫検査）は入厩時に行う。 日 時 9月21日（金） 14:00 ～ 16:30</p> <p>1. インスペクションを受けるまでの時間は各区間到着後30分以内とし、再インスペクションは1回のみとする。 2. 最高心拍数は、64拍/分以下とする。ただし、気象条件等により技術代表、獣医師団長及び審判長の協議の上、低い基準値に変更される事がある。 3. 過度の疲労、熱中症、疝痛、筋障害、激しい脱水症、又は異常に高い体温（40℃以上）の症状を呈している馬は失権となる。 4. 継続的に歩様の異常を呈した馬は失権となる。 5. 競技に参加、又は競技を継続することによって、該当時点で有する痛み、外傷等が深刻に悪化しそうな状態にある馬は失権となる。 6. 獣医師団からの書面による承認がない限り、競技中に獣医師による治療を行うことはできない。競技馬がゴールラインを通過後、2時間を経過した時点で競技が終了する。ただし、ベストコンディション賞の対象となる競技馬は、このかぎりではない。認可された治療処置は、当該馬の順位決定には影響しない。</p> <p>1. 選手権競技 第1区間・第2区間終了後 インタイムより30分間を強制休止時間とする。 第3区間終了後 インタイムより40分間を強制休止時間とする。</p> <p>2. 一般競技 第1区間・第2区間終了後 インタイムより30分間を強制休止時間とする。</p> <p>選手権競技では、第3区間終了時のインスペクションに合格した競技馬は、第4区間に出発する前に再度インスペクションを受けなければならない。 強制再検査は第4区間スタート時間の10分前から行う。 既定のインスペクションに加えて、獣医師団或いは審判長の判断により、競技中、何時でも個別のインスペクションを行うことができる。</p>

オ、歩 様 検 査

選手権競技における最終インスペクションにおける歩様検査の判定は、3名の獣医師による合議なしの投票によって行い、多数決によって最終判断が決定される。

ただし、競技参加馬は走行終了後2時間、獣医師の観察のもとにおかれ、その間に獣医師団により異常が認められた場合失権となり完走が取り消される場合もある。

カ、走 行 時 間

走行時間は第1区間スタートから最終区間ゴールライン通過までの時間とし、強制休止時間を減じたものとする。

強制休止時間合計

選手権競技 1時間40分

一般競技 1時間00分

走行時間が走行時間制限内であり、競技参加馬が最終獣医検査に合格したものを完走とする。

キ、ス タ ー ト

スタートは各競技每一斉に行う。

ク、順 位 決 定

順位は、最終獣医検査に合格した人馬の中から所要時間の少ない順とする。

ケ、ベストコンディション賞

ベストコンディション賞は、上位入賞者（本競技においてベストコンディション賞の選考対象となる頭数は、ブリーフィングの際に発表する）の中から実馬比較審査により決定される。

ただし獣医師団及び競技場審判団の判断により該当馬が無い場合も有りうる、選考対象馬は審査時まで競技主催者の監視下に置かれる。

実馬比較審査予定日時

選手権競技 9月23日 9:00～

一般競技 9月22日

選考対象馬競技終了後

コ、ド ー ピ ン グ

人馬共にドーピング検査を実施する。

競技期間中の競技参加馬に対する治療行為については日本馬術連盟競技会関連規程第8条の規程に基づき、獣医師団長の許可のもとに実施すること。

そのほかドーピングに関する項目については、日本馬術連盟ホームページ上にあるドーピング関連のお知らせを熟読し各選手で必要な届出も各選手によって行うこと。

医師の判断により医薬品等の使用が中止できない場合は、掛かり付けの医師に相談の上、「治療目的使用の摘要措置(TUE)に関する国際基準」に従いTUE申請書を日本馬術連盟事務局まで提出して下さい。参加を予定する大会初日から起算して

45日前までに必着のこと。

日本アンチ・ドーピング機構

[URL:http://www.anti-doping.or.jp/index.html](http://www.anti-doping.or.jp/index.html)

アンチ・ドーピング規程・TUE規程・申請書

[URL:http://www.anti-doping.or.jp/code/index.html](http://www.anti-doping.or.jp/code/index.html)

<p>② 競 技 種 目 規 程</p> <p>1) 選 手 権 競 技</p> <p>ア、走 行 時 間 制 限 イ、カ ッ ト オ フ タ イ ム</p> <p>ウ、負 担 重 量</p> <p>2) 一 般 競 技</p> <p>ア、走 行 時 間 制 限 イ、カ ッ ト オ フ タ イ ム</p> <p>ウ、負 担 重 量</p>	<p>120km 4区間 (40km+30km+30km+20km)</p> <p>合計走行時間の制限 12時間00分</p> <p>各区間において、指定されたカットオフタイムまでに走行できない場合、その後の競技走行を続けることは出来ない。</p> <p>第3区間到着後の時刻 14:00</p> <p>第4区間ゴール時刻 16:40</p> <p>最低負担重量を75kgとする。重量は騎乗者・鞍・鞍下ゼッケン・重りとし、頭絡・飲料水・容器・携帯食料・イージーブーツは除く。</p> <p>検量は競技会開始前の獣医検査時及び各区間ゴール直後に行う。(スタート前・レース中に随時抜き打ち検量を行う場合がある。)</p> <p>80km 3区間 (30km+30km+20km)</p> <p>合計走行時間の制限 9時間00分</p> <p>各区間において、指定されたカットオフタイムまでに走行できない場合、その後の競技走行を続けることは出来ない。</p> <p>第2区間到着後の時刻 12:15</p> <p>第3区間ゴール時刻 15:00</p> <p>最低負担重量は設けない。</p>
<p>(6) 落 鉄 対 策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 各自充分な対応をすること。(改装・イージーブーツ等) 主催者で装蹄師の手配をするが予備鉄は各自用意すること。予備鉄がない場合、装蹄できないことがある。(装蹄料は実費負担) 予備鉄は事前にゼッケン番号及び馬名を明記して、大会本部に預けること。 再装蹄にあたっては、外部からの援助を受けることができる。
<p>(7) 落 馬 ・ 放 馬 対 策</p>	<p>落馬・放馬の場合は、いつでも、どこでも、誰からでも援助を受けられる。競技を続行する場合は落馬・放馬した場所に戻り再スタートする。</p>
<p>(8) 参 加 申 込 み 方 法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 参加申込みの締め切り(必着) 2007年8月28日(火) 参加申込書には人馬の日馬連登録番号を必ず記入すること。 馬の変更は申込書記入の予備馬の中から行える。 予備馬登録 1頭 3,000円 8月29日以降の変更料は一項目につき 2,000円 未成年者の参加者は保護者の承諾書を添付すること。 送付先 〒081-0341 北海道河東郡鹿追町瓜幕西2丁目9番地 ウリマックホール内 北海道エンデュランス協会事務局 大前健也 TEL:0156-67-2111 FAX:0156-67-2112

(9) 参 加 料	<table border="0"> <tr> <td>選手権競技</td> <td>1頭</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>一般競技</td> <td>1頭</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>予備馬</td> <td>1頭</td> <td>3,000円</td> </tr> <tr> <td>団体戦</td> <td>1頭につき</td> <td>5,000円</td> </tr> </table> <p>申込書発送と同時に下記に振り込むこと。 【振込先】 帯広信用金庫 鹿追支店 口座番号 普通 1019269 加入者名 全日本エンデュランス競技大会 実行委員会 委員長 三井福成</p>	選手権競技	1頭	30,000円	一般競技	1頭	25,000円	予備馬	1頭	3,000円	団体戦	1頭につき	5,000円
選手権競技	1頭	30,000円											
一般競技	1頭	25,000円											
予備馬	1頭	3,000円											
団体戦	1頭につき	5,000円											
(10) 参 加 馬 の 入 厩	<ol style="list-style-type: none"> 2007（平成19）年9月21日（金）～9月24日（月） までとするが、厩舎の関係で入厩調整する場合がある。 入厩料（選手権参加馬は全頭入厩とする） 一泊（日帰り含む）3,000円 2007（平成19）年9月15日（土）～9月21日（金） 事前入厩を許可します。 9月1日（土）からの事前コースオープンにともなう短期入厩を許可します。 希望者は事務局（瀬戸：0156-67-2345）までお問い合わせ下さい。 												
(11) 馬 の 移 動 に 関 して	<ol style="list-style-type: none"> 前年の1月1日以降に都道府県知事が実施した馬伝染性貧血症の検査を受け、陰性である証明書を携行すること。 馬インフルエンザ予防接種を規程通り完了し、半年毎に年2回の補強接種を実施している証明書を携帯すること。 日本脳炎の予防接種を本年2回実施している証明書を携行すること。 釧路管内から参加する馬については、馬パラチフス陰性の証明書（釧路家畜保健衛生所発行）を携行すること。 												
(12) 選 手 の 服 装	<p>F E I エンデュランス競技規程第817条に基づいたエンデュランス競技に適した服装で、ヘルメットは乗馬用規格で顎紐をシェル部分で3点以上固定してあるものを確実に装着しなければならない。また、バックガードの着用を推奨する。</p>												
(13) 開 会 式 ・ プ リ ー フ ィ ン グ (選手打合せ会)	<ol style="list-style-type: none"> 2007（平成19）年9月21日（金） 16:40より ウリマックホール内会議室で行う。 選手又は所属団体の代表者は必ず出席すること。（代理を認める） 打合せ会で決定或いは確認した事項を優先する。 												
(14) 表 彰 式	<ol style="list-style-type: none"> 2007（平成19）年9月23日（日）14:30より ウリマックホールで行い、ベストコンディション賞はホール外の芝生上で受賞馬に授与 正当な理由なく表彰式に参加しないものは、入賞の資格を失う。 												
(15) 注 意 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 選手は傷害保険に加入していること。 メディカルカードをライダーズベストの胸ポケットに必ず携行の上、走行すること。 厩舎及びその周辺の清掃は、各自相互に協力して行うこと。清掃用具は各自持参すること。 雨よけ・日よけの装備にあたっては、設置前に大会本部の承認を受けること。 												

	<p>5. 厩舎・クルーエリア・コース・クルーポイントは火気厳禁、禁煙とする、喫煙は指定された喫煙場所のみで行うこと。</p> <p>6. 未明のスタートとなるので、必要な方は各自照明器具等を準備すること。</p> <p>7. この要項にない事項に関しては、関係役員（技術代表、大会委員長、審判長、獣医師団長）の協議で決定する。</p>
<p>(16) その他重要なルール</p> <p>ア、馬装・用具</p> <p>イ、スタートとゴール</p> <p>ウ、コース走行中</p> <p>エ、失権・棄権した場</p>	<p>1. 拍車、鞭、折り返し手綱の使用はできない。</p> <p>2. 踵のない靴（靴底が平坦なもの）を履くことは、ケージ付の鍔か、同様の安全鍔を用いる場合のみ許される。</p> <p>1. 第1区間スタート時刻から15分以内にスタートしなければ失権となる</p> <p>2. 第1区間のスタートラインと最終区間のゴールラインは、騎乗して通過しなければならない。</p> <p>1. 競技者への援助は、スタート前、ゴール後、クルーポイント、クルーエリア、獣医検査場に限られる。 原則として、給水ポイントでは外部からの援助は受けられない。</p> <p>2. 競技者以外の方がコース上を騎乗したり、車両・自転車・徒歩等で併走した場合は失権となる。</p> <p>3. 競技走行中における携帯電話の使用を許可する。</p> <p>1. 失権した場合は、直ちにコースから退去しなければならない、走行を継続することはできない。</p> <p>2. 棄権した場合においても、獣医師による競技参加馬の検査を受けなければならない。</p>
<p>(17) マナーについて</p>	<p>走行は左側通行を原則とし、追い越しは原則として右からとするが、以下のマナーを厳守すること。</p> <p>1. 追い越す側</p> <p>1) 追い越しに適した安全な場所か、道幅は充分かを判断する。</p> <p>2) 左右どちらから追い越せば安全かを判断する。</p> <p>3) 追い越しを掛ける際に、前のライダーに「右（左）から抜きます。」と大きく、はっきりした声で叫ぶとよい。</p> <p>4) 前のライダーに声が届いたことを確認し、安全に追い越す。</p> <p>5) 狭い場所での追い越しはやめ、決して前の人馬にプレッシャーを与えないようにする。</p> <p>2. 追い越される側</p> <p>1) 後ろからスピードの速いライダーが追いついて来てもあわてな</p> <p>2) 追い越しの意思を確認したら、出来る範囲で道を譲る。</p> <p>3. 事故の場合の対応</p> <p>事故者を発見した場合、後続の競技者は可能な限りの手助けを行わなければならない。その次の競技者は最も近いチェックポイントに連絡しなければならない。</p>

4. その他

- 1) 水場が同時に使用できない場合は順番を待つ。
- 2) 給水用に用意された水おけなどに、馬体を冷やすためのスポンジは入れない、馬体にかけた水や汗が水槽等に入らないよう十分注意する。
- 3) 川の中で水を飲んでいる馬、或いは休憩している馬がいる場合は、十分な距離を置いて静かに走行する。
- 4) 蹴り癖のある馬は、目印として尻尾の付け根に赤いテープ等を巻く。
- 5) 牡馬（種馬）は目印として尻尾の付け根に青いテープ等を巻く。
(主催者が特別なゼッケンを用意することがある。)

大会運営に係るボランティアスタッフ募集

エンデュランス馬術大会運営には、多数の運営スタッフを必要とします。

各参加乗馬クラブを始め、乗馬に興味のある方を募集していますので、

実行委員会まで連絡願います。（乗馬経験のない方も大歓迎します。）

【連絡先】 北海道エンデュランス協会

TEL 0156-67-2111

FAX 0156-67-2112